

えらい人になるよりも

奨励	山本 真司〔やまもと・しんじ〕
奨励者紹介	同志社国際中学校・高等学校 宗教センター主任

わたしに与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分を過大に評価してはなりません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の度合いに応じて慎み深く評価すべきです。というのは、わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っていても、すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

（ローマの信徒への手紙 12章3―8節）

「かんじる ゆめみる といかける こころは ふしぎな おおきなへや」で始まるこの歌は「同志社小学校校歌」（谷川俊太郎 作詞 大中恩 作曲）です。私は同志社の中でこの校歌が一番好きです。歌詞がとてもわかりやすい。

作詞を、お母さまが同志社女学校の卒業生である谷川俊太郎（たにかわ しゅんたろう）さんに依頼しました。

作曲は、お父さまが同志社大学経済学部卒業生の作曲家大中寅二さんである教会オルガニストの大中恩（おおなか めぐみ）さんです。

歌詞の中でも特に、「えらいひとに なるよりも よいにんげんに なりたいな」。この部分は、新島襄が掲げた同志社建学の精神、聖書に基づく信仰の世界を見事に、また端的に表現しているではありませんか。

1875年にほんの数名の教員と学生で、今の新島旧邸のある付近にあった校舎で祈りの会で開校した同志社は、現在では日本で有数のキリスト教学校となり、全国102のプロテスタント系学校法人の中でも、幼稚園から大学院まで全てのグレードを備えた総合学園となりつつあります。

私が学生の頃、同志社五万人構想を打ち上げました。ほぼ、その通りになりました。

最近、同志社の卒業生で、素晴らしい活躍をされている方がいらっしゃいますので、ご紹介したいと思います。

『暖房はこベッド』と名付けた「段ボールベッド」を考案して、普及活動をしている「Jバックス」の社長、水谷嘉浩（みずたによしひろ）さんです。

水谷さんは、同志社香里中学校・高等学校、同志社大学を卒業されました。

段ボールベッドで避難所革命

東日本大震災の時、避難所で被災者の方が病に倒れ、命を落とされていることを知り、自分のできることとどうにか救えないか、自分の仕事で役に立てることはないかと考えられ、段ボールベッドの設計を始められたそうです。

段ボールで寝る高さをつけることで、直接床に寝転んだ際には吸い込んでしまう埃を吸い込まず、また、段ボールによる保温効果で体温も奪われず、病にかかりにくくなることが判明し、検証を重ね、開発を進められました。そして、

「拡散希望！段ボール製簡易ベッドの試作完成。避難所で寒さをしのぎ低体温症の予防が期待できる。もし必要なら沢山作って被災地に寄付します。少しでもお役に立てれば。このツイートが被災地の方に届け！」（Twitter 段ボールベッドの水谷嘉浩です！@mizutani1109 2011年3月28日 <http://plixi.com/p/87548895> 2019年6月4日アクセス）

そうツイートで呼びかけ、要望に応え届けられていたそうです。段ボールベッドは無償での提供のため、経営は大変だったかと思われます。

下町企業が利益より優先するものとは。そのことについて「社会貢献の心、祖父に習う」というHPの記事で、水谷さんは答えておられます。

「Jバックスは祖父が興した会社で、私は3代目の社長です。祖父は損をしても見て見ぬふりはできない人でした。私が景気のよくない時も障害者雇用率10%を維持し、独自に子ども手当を支給するのも同じ精神です。簡易ベッド提供も赤字ですが、家族の理解を得て続けられています。『何で利益もでないのにやるのか』とよく聞かれますが『プロとして事業を通じて社会に貢献できる』。これだけで十分な動機だと思います。（中略）『世のため人のため』。祖父の口癖だった言葉は私の口癖でもあります」（日本経済新聞電子版 段ボール製の簡易ベッド考案（次代の創造手）〈ばっく ぼん〉社会貢献の心、祖父に習う 2014年9月25日 https://r.nikkei.com/article/DGXLASHD19012_Z10C14A9AA1P00?s=6 2019年6月4日アクセス）

聖書のことばやイエスの教えなどという単語はここでは出てきませんが、恐らく、香里中学校・高等学校、そして大学で聖書やイエスの息吹に知らず知らずのうちに触れておられたのだと思います。ただ、善行が聖書の教えに基づいているという、聖書を教えている教員が陥りがちな勝手な思い込みならいけないと考えて、香里中学校・高等学校長の瀧先生にご紹介いただきまして、水谷さんご本人とお話する機会を頂戴いたしました。単刀直入に、「同志社での学び」があなたの行いに結びついているというコンテキストで紹介して良いでしょうか、とお尋ねしました。水谷さんは「光栄なお話です」とお答えになられました。

ご紹介した「段ボールベッド」、決して有り余る資産や潤沢な留保から思いついたことではなく、良心に突き動かされた行いなのだと信じているのでございます。同志社は、偉い人ではなく、良い人間を世に送り出そうとしてまいりました。その底流に脈々と流れる強い神の意思と福音の継承を、暖かい段ボールベッドは体現しているのではないのでしょうか。そして、これまでそうであったように、今日から、私たち自身が良い人間になり、良い人間を送り出すために共に力を注いでいこうではありませんか。

新島襄の遺言の一節を朗読して、同志社スピリットを思い起こすこのチャペルに集まった皆さまとの新しい第一歩を踏み出したいと思います。

同志社の前途は基督教の徳化、学文学、政治等の隆興、学芸の進歩、三者相俎い、相まって行うべきこと。同志社教育の目的はその神学、政治、文学、科学等に従事するにかかわらず、皆、精神活力あり「真誠の自由を愛し」もって、邦家に尽くすべき人物を養成するを務むべきこと（新島襄全集編集委員会編 『新島襄全集』4 同朋舎出版 1989年 403頁）。

共に祈りましょう。

慈愛に満ちるわたしたちの神よ 同志社建学の精神を覚える礼拝を奉げる喜びを感謝いたします。現代という荒野にあって、新島襄が抱いた志を受け継ぐ器として一人ひとりが立てられていることを誠意と忍耐をもって受け入れることができますように導いてください。同志社は聖書の信仰によって建てられ、計り知ることのできないあなたの愛と数えきれない先達の愛によって支えられてまいりました。どうか、わたしたちもまた、その群れに加えてくださいますように切に祈ります。この感謝と願いを、主イエス・キリストのみ名によってお捧げいたします。

平和と、信仰を伴う愛が、神と主イエス・キリストから私たちにあるように。恵みが、変わらぬ愛をもってわたしたちの主イエス・キリストを愛する、全ての人と共にあるように。アーメン

※引用しました出典の一部につきまして、読みやすくするため平仮名、現代仮名遣いにて表示しております。